

この延長で緊急事態が終わりますように

12日までの緊急事態宣言が、30日まで延長されました。牧之原市の感染者も、多少の増減はあるものの、毎日のように報告されています。手洗い、消毒に加え、授業中での活動の制限は引き続き継続されるため、我慢が続くこととなります。子供たちの様子を見ると、世間一般と同様、この状況に慣れてきている様子も伺われます。もう一度、自分のため、そして、家族のため、クラスみんな、学校みんなのため、しっかり感染対策に努めたいと思います。家庭でも、引き続き、感染対策をよろしくお願いします。

前回のYHさんの作品はいかがだったでしょうか。今回は、TKさんの読書感想文を紹介します。夏は戦争について知る、また、考えるよい機会ですが、戦争を知らない世代が増えていること、また、夏休み中ということもあり、戦争の話題に触れず、夏を終えた子がほとんどではないかと思えます。TKさんの作文が、戦争をそして、平和を少しでも考える機会になればと思います。

「へいわってなんだろう」

「へいわってなにかな。」この本を読みながら、ぼくもぼくといっしょに「へいわ」のいみを考えました。

この本のぼくが考える「へいわ」について書かれているページには、人やどうぶつなどみんながえがおです。友だちとなかよし、かぞくが元気、えがおであそぶ。どれも、みんながじゆうにおもいきり楽しそうにしています。みんなの心の中に(たのしい)や(嬉しい)気もちがいっぱいになることが、「へいわ」ということなんだと、思いました。だって、やさしい気もちがいっぱいになると、けんかがなくなって、みんななかよしになれるからです。

この前、八月十五日にサイレンがなりました。何年も前にせんそうでたくさんの方がしんでしまったことをパパから聞きました。せんそうのときには、たべたいものをたべられないし、大切なかぞくがしんでしまいます。ぼくだんがおちて、まっ黒です。考えるだけで、とてもこわいです。おいしいごはんをかぞくでわらってたべたり、友だちと外でおもいきりあそんだり、そんなあたりまえのことができないのはとてもつらいです。外国では、まだせんそうをしている国もあると、ママに教えてもらいました。みんななかよく「へいわ」になるために、はん分に分け合えばいいのに。そうすれば、せんそうにならないのに。ぼくは、お姉ちゃんや妹とけんかにならないように、いつもおやつを分け合います。どうして、分け合わずにたたかうんだろう。せんそうをしている国の人みんなも、やさしい心がいっぱいになってほしいです。

せんそうのない日本は、「へいわ」です。でも、今コロナであたり前のことができなくなっています。この本とコロナをとおして、今までのあたり前が「へいわ」なんだと、気づきました。ずっと、「へいわ」がつづくように、ぼくもぼくのできることからがんばります。

思い出をあらわそう 2

夏休みの思い出を粘土であらわしました。こちらも素敵な作品がいっぱいでした。

